

審判部

平成29年7月11日

☆試合時間について

代表チーム 90分(7回併用) 低学年チーム 75分(5回併用)

制限時間の考え方の統一

後攻チーム攻撃 3アウト目を審判がジャッジ後、内野手がファールラインを超えた時間が90分(75分)を超えた場合、新しい回に入らない。

90分(75分)の考え方は全て記録員 手元の時計とする。(タイムキーパーを記録員とする)

☆ボークについて

基本的に明らかなボークは1回目から適用する。(審判の判断) また、右投手の三塁・左投手の一塁牽制は必ず投げる方向に一連の動作で必ず踏み出すこと。踏み出しが浅いとボークになります。(膝が高く上がった時点でボークになるので注意すること)

二段モーションも同様です。

☆遅延行為の徹底

制限時間5分を切った段階で、明らかに遅延行為としか思われない投手交代・・・等 担当審判4名及び球場責任者が明らかな遅延行為と判断した場合、今後、交代を認めない場合がある。

☆審判員のジャッジ

規則適用をめぐる紛争が生じた場合、その試合担当の審判員の責任で処理する。但し、審判員が裁定に苦しむときは、控え審判員及び大会規則委員が協議して裁定する。この裁定は、最終的なものとする。

☆抗議

悪質な抗議・やじ等を行うチームには、当事者または代表・監督の退場を大会責任者・球場責任者・当確審判が退場を命じることが出来る。(応援席も同様)

☆チーム推薦審判員

チーム推薦審判員は、球審及び出来る限り大会に参加出来る人を推薦して下さい。

余り、出席率が悪いチームにはペナルティーを課す場合があります。

90分で7回の攻撃を完了できるようにするため攻守交替は駆け足を徹底して下さい

チーム関係者の方々ご協力お願いいたします。

流山市少年野球連盟
審判部